

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

注： は改善箇所を示す。

メインワイヤーハーネス

プロテクター



メインワイヤーハーネスにおいて、配索が不適切なため、ハンドルを左右に切った際、当該ハーネスがフレームの突起部に接触することがある。そのため、当該ハーネスの被膜が破れ、ハーネス内の配線が短絡して、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ハーネスプロテクターを対策品に交換し、メインワイヤーハーネスの状態を点検して、必要に応じて修正する。

識別： 対策後は車台番号の末尾付近に白色のペイントマークを塗布する。